

## 令和5年第5回（12月）定例会 文教生活常任委員会報告書

議案番号	議案の名称	審査結果	採決日
議案第129号	令和5年度宝塚市病院事業会計補正予算 (第2号)	可決 (全員一致)	11月29日
議案第135号	宝塚市国民健康保険出産費資金貸付基金 条例を廃止する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第137号	宝塚市特定教育・保育施設及び特定地域 型保育事業の運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例の制定につ いて	可決 (全員一致)	

### 審査の状況

① 令和5年11月24日（議案審査）

・出席委員 ◎川口 じゅん ○三宅 浩二 浅谷 亜紀 池田 光隆  
北山 照昭 坂本 篤史 中山 ゆうすけ みとみ 智恵子  
持田 ちえ

② 令和5年11月29日（議案審査）

・出席委員 ◎川口 じゅん ○三宅 浩二 浅谷 亜紀 池田 光隆  
北山 照昭 坂本 篤史 中山 ゆうすけ みとみ 智恵子  
持田 ちえ

③ 令和5年12月20日（委員会報告書協議）

・出席委員 ◎川口 じゅん ○三宅 浩二 浅谷 亜紀 池田 光隆  
北山 照昭 坂本 篤史 中山 ゆうすけ みとみ 智恵子  
持田 ちえ

(◎は委員長、○は副委員長)

**議案番号及び議案名**

議案第129号 令和5年度宝塚市病院事業会計補正予算（第2号）

**議案の概要**

補正後の令和5年度宝塚市病院事業会計予算

**業務の予定量**

年間患者数及び一日平均患者数の減数

**収益的収入及び支出**

病院事業収益の予定額 133億5,823万2千円(7億1,607万8千円の減額)

病院事業費用の予定額 139億4,022万5千円(1億2,300万円の減額)

- ・ 医業収益の予定額を8億6,878万円減額する一方で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した市補助金及び新型コロナウイルス感染症対策に充てる県補助金1億5,270万2千円を受け入れようとするもの。
- ・ 給与費を執行予定額に合わせて、医業費用の予定額を1億2,300万円減額しようとするもの。

**たな卸資産購入限度額** 1億7,000万円(3,000万円の増額)

**論 点 なし**

**<質疑の概要>**

問1 抗がん剤等の高額治療薬の増加に伴い、たな卸資産購入限度額を1億7千万円に引き上げるとのことだが、今後、がん患者が増える見込みの中、たな卸資産購入限度額は年々増加していくという見通しか。

答1 がんは日々治療法が多様化し、多様な選択肢の中、疾患ごとに治療薬の種類が増えている。化学療法薬は1つ当たりの単価が40万円から100万円を超えるものもあり、選択肢が増えるごとに保有数も増大するため、たな卸資産購入限度額は今後も増える可能性はある。

問2 令和5年度入院患者数の上半期の実績と下半期の見込みについて、上半期実績に比べて下半期の見込みを多くしているのは例年の傾向を踏まえているのか。

答2 コロナ禍では少し傾向が違っていたが、恐らく今年度は例年どおり冬場に患者数が多くなると見込んでいる。脳や心臓の血管系の疾患、転倒による骨折などの増加が見込まれるためである。

問3 入院収益を約10億円減額補正することになった要因は。当初予算の読みと実績値の乖離が大きい、どう認識しているのか。

答3 収益減の大きな理由の一つは看護師の確保ができていないことである。当初予算では看護師を確保し、病棟を全て稼働させて1日当たりの入院患者数315人を

目指していたが、結果として令和5年3月から4月にかけて看護師はあまり増えず、稼働病床を増やすことができない状況となった。

問4 1日当たりの入院患者数315人というのは到達不可能な数字で、収支均衡に見せるために当てはめたように思われ、予算は実績に基づいた数字で示されなければならないという考えから当初予算には反対した。病院予算の立て方について、市はどう考えているか。

答4 地方公営企業である市立病院の予算原案は病院事業管理者が作成するもので、予算の調製や提案権は市長にある。地方公営企業法及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に関する取扱いによると、管理者に対する長の指示権は限定されており、予算の調製に当たってはできる限りその提案を尊重するということになっている。一方で、市も予算の繰り出しなどを行うため、適切に、強く意見も言いながら予算を調製していくべきものと考えている。

問5 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金については、地方公共団体が運営する公営企業や直接住民の用に供する施設における活用も可能となっている。入院患者の食事等、食材の高騰分などの影響は相当大きいと聞いており、交付金の趣旨から見れば、交付金を活用し病院を支援していく必要があると思うが。

答5 市がこの交付金を活用している主な内容は光熱費に係る支援だが、国会で追加の補正予算が現在審議中で、事前の情報によると医療機関への食材費支援も含まれていると聞いている。県の対応を見極めた上で、市の支援について検討していきたい。

自由討議	なし
------	----

討論	なし
----	----

審査結果	可決（全員一致）
------	----------

令和5年第5回（12月）定例会 文教生活常任委員会報告書

<p><b>議案番号及び議案名</b></p> <p>議案第135号 宝塚市国民健康保険出産費資金貸付基金条例を廃止する条例の制定について</p>
<p><b>議案の概要</b></p> <p>平成21年度に市から医療機関へ出産育児一時金を支給する「直接支払制度」が導入されたことにより、平成23年度以降、同資金の貸付実績がなく、今後も制度の利用が見込めないことから、条例を廃止しようとするもの。</p>
<p><b>論 点</b> なし</p> <p><b>&lt;質疑の概要&gt;</b></p> <p>問1 貸付制度が廃止され、困る市民はいないのか。</p> <p>答1 本市では平成23年度から貸付けの申請実績がない。また、県下41市町のうち本市を含めて5市町しか貸付制度を持っておらず、貸付制度を持っている他市町にも確認したが近年貸付けの実績がない。現在はほとんどの人が直接支払制度を利用するので、貸付制度を利用する人はいないと考え、廃止の提案をしている。</p> <p>問2 直接支払制度により、出産育児一時金の限度額（50万円）を超える部分について支払いが発生するとのことだが、本人負担はどのぐらいの額なのか。</p> <p>答2 出産費用は健康保険の保険給付の対象外であり、医療機関が自由に設定できるものではあるが、例えば通常分娩後4日入院を基本とした場合、市内の産婦人科では、費用は約55万円から60万円と聞いている。この場合、本人負担が約5万円から10万円になる。</p>
<p><b>自由討議</b> なし</p>
<p><b>討 論</b> なし</p>
<p><b>審査結果</b> 可決（全員一致）</p>

令和5年第5回（12月）定例会 文教生活常任委員会報告書

<b>議案番号及び議案名</b>
議案第137号 宝塚市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
<b>議案の概要</b>
国が定める特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準が改正されたことに伴う所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。
<b>論 点</b> なし
<b>&lt;質疑の概要&gt;</b> なし
<b>自由討議</b> なし
<b>討 論</b> なし
<b>審査結果</b> 可決（全員一致）